



ふれあい



# さいせい

発行

済生会西条病院  
2024年 新春号 第95号

西条市朔日市269-1  
TEL(0897)55-5100



石鎚山系からの日の出 撮影：検査室 青野拓也

**ごあいさつ**

院長 岡田 眞一

**胃癌の話**

内科部長 鳥巢 真幹

**部署紹介 検診センター**

**がん検診のご案内**

検診センター

**ピロリ菌の除菌療法について**

薬局 佐伯 綾香

**オレンジカフェ**

地域包括支援センター西条支部 宇佐美佐緒里

**第44回全国済生会期善ソフトボール大会**

特別養護老人ホーム 宇佐美颯規

**令和5年度院内期善ソフトドッジボール大会**

経営企画課 藤原 旭紘

**しめ飾り**

いしづち苑 石原 才靖

**4年ぶりのお餅つき**

特別養護老人ホーム 中野 佳弥

## ごあいさつ

院長 岡田眞一



院長  
岡田 眞一

みなさん新年明けましておめでとうございます。

3年半続いた新型コロナウイルス感染症は、昨年5月から感染症上の分類が5類移行となりました。それに伴い、会食や移動の制限がなくなり、今年の年末年始は、今までにない楽しい時間を過ごされたのではないのでしょうか。当院は5年くらい前から計画していた新棟が、昨年10月にやっと完成して運用を開始しました。旧館も使用することになり、その連絡通路は4月完成予定です。それまではご不便をおかけしますが、ご理解の程をお願い致します。

今、日本は物価高騰、人材不足、少子高齢化が進んでいるという難しい問題を抱えています。医療機関にとっても、全て直接影響する問題です。特に人口減少については、地方では都市部に比較して早くからみられていました。人口減少と高齢化に伴って、医療・福祉施設で働く職員数も減少しています。医師不足は早くから叫ばれていましたが、今は医療・福祉施設で働く職員全体が減少して人材確保が困難になっています。地域医療を守るためには処遇改善をして人材確保を行う必要があります。今年は医療・介護・障害福祉サービスの診療報酬改定が行われる年です。地域の医療と福祉を守るために適切な報酬の改定となるように期待しています。

今年も、職員一同力を合わせて頑張ってまいります。どうか宜しくご支援の程をお願い申し上げます。

# 胃 癌 の 話 -ピロリ菌について-

内科部長 鳥 巢 真 幹

胃はみぞおちのあたりにある袋状の臓器で、その主な役割は、食べ物をため、消化し、少しずつ腸に送り出すことです。この胃の壁の内側をおおう粘膜の細胞が何らかの原因で癌細胞となり、無秩序に増えていくことにより発生するのが胃癌です。

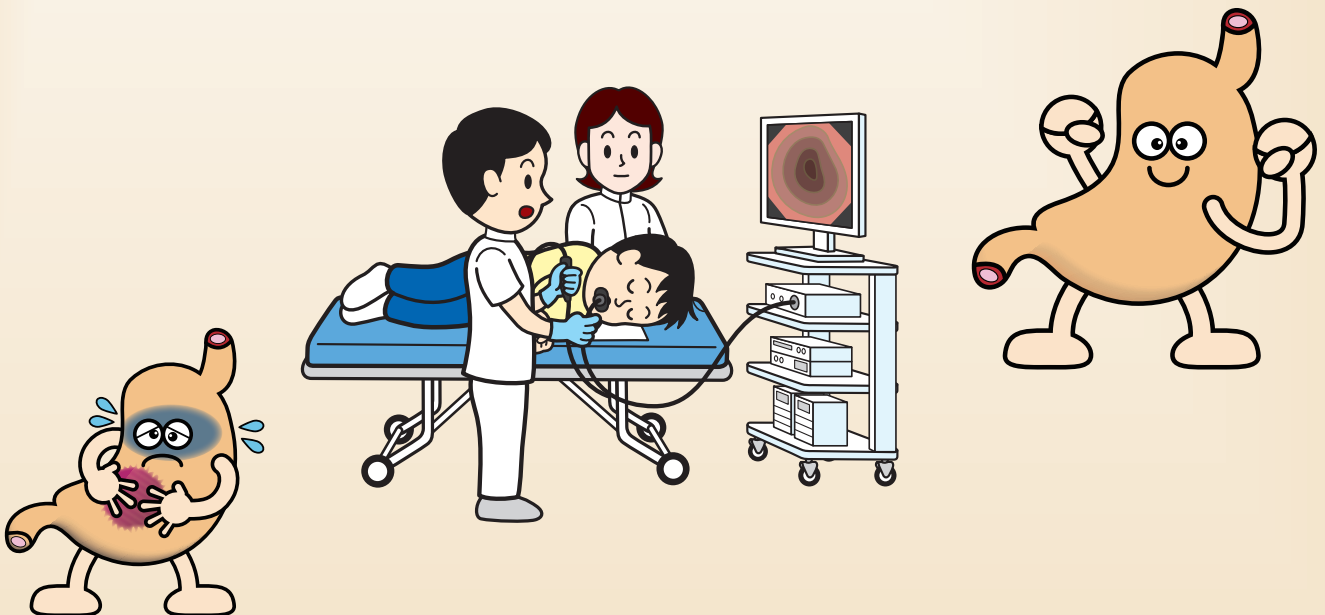
日本では長らく部位別の癌り患率・死亡者数の1位に君臨していましたが、2020年の統計では罹患率で大腸癌・肺癌に次ぐ第3位に、死亡率でも肺癌・大腸癌に次ぐ第3位となっています。減ってきた主な原因は発癌予防の進歩と治療の進歩になります。

胃癌を誘発する原因として様々なものが指摘されています。喫煙や高血糖、高塩分食も関連がありますが、ヘリコバクターピロリ感染が最も有力な原因となります。

従来、胃はPH1という強酸環境のため、どのような細菌も溶かされてしまい生き延びられないと考えられていました。しかし、ヘリコバクター・ピロリはウレアーゼという酵素でアンモニアを作り酸を中和できるため、胃の中でも生き延びられます。ピロリ菌にとってライバルの居ない胃の中はある意味天国だったのです。このピロリ菌が、人間の胃に生息し、胃炎の原因となり、胃癌を引き起こすことを証明したオーストラリア人のマーシャル博士は2005年のノーベル医学生理学賞を受賞されています。

現在胃癌が減ってきている原因の一つである発癌予防の進歩とは、このピロリ菌の治療法が確立され、感染者が減り、発癌の母地となる萎縮性胃炎を持っている患者が減ってきていることなのです。

当院でも内科・検診センターを中心に上部消化管内視鏡検査を積極的に行い、ピロリ菌の診断や胃癌の早期発見に努めています。上部消化管内視鏡は苦しい検査の代表格のように思われていますが、経鼻内視鏡（精度はやや劣りますが）や鎮静下での内視鏡を選択することで苦痛の軽減を図ることができます。胃癌に限らず、どんな癌も早期に発見することで治癒率を引き上げることが可能です。きちんとした癌健診を受けることで癌の早期発見に努めましょう。



## 部署紹介

## 検診センター

検診センターは、2002年に開設され、年間1,200名受入れでスタートしました。21年が経過し、年間約6,200名を受入れしています。医師・保健師・看護師・放射線技師・検査技師・管理栄養士・リハビリ技師・事務員の多職種協力のもと成り立っています。

人間ドック・脳ドック・定期検診・生活習慣病予防健診など各種健康診断を実施しており、ご希望に応

じてオプション検査も追加でき、大部分の検査がワンフロアで実施可能で、終了後にはラウンジで休憩していただくことも可能です。

病院は新棟が建設され一新されておりますが、検診センターは移動なく東棟2階にあります。健診者への施設案内や健康診断広報のため外壁に大きな看板を設置しました。これからも更なる飛躍を目指し看板に負けず、地域の皆様の健康管理に役立て、満足いただける質の高い検診センターを目指します。



## がん検診のご案内 ～PET-CTによるがんの早期発見のために～



健康は全ての方にとってかけがえのない財産です。わが国の3大死因は、がん・心臓病・脳卒中で60%を占め、そのうち「がん」が第1位（約30%）となっています。今日、PET-CT検査などにより早期発見することができ、様々な医療技術の進歩によって多くの「がん」を克服することが可能となりました。

当院では、PET-CTがん検診により「がん」の早期発見に努めております。みなさまの節目検診として、40歳、50歳、60歳などの年齢にPET-CTがん検診を考えられてはいかがでしょうか。

尚、PET-CTがん検診・人間ドック・脳ドックが一つになったプレミアムコースもご準備しております。

気がかりなことがありましたら当院検診センターまでお問い合わせください。

検診センター ☎0897-55-5121



# ピロリ菌の除菌療法について

薬局 佐伯綾香

ピロリ菌を除菌するには、まず2種類の抗菌薬（アモキシシリンとクラリスロマイシン）と、抗菌薬をよく効くようにするための胃酸分泌抑制薬、合計3種類の薬を、1日2回、7日間のみ続けます。写真は当院採用のボノサップ®パック400です。7日間飲み切ることで90%以上の確率で除菌できます。したがって、1日2回、7日間飲み忘れなく飲み切ることが、治療を成功させるために重要となります。

一方、服用中は軟便・下痢症状、腹部の張り、悪心・嘔吐、味覚症状が起きることがあります。軽度の症状であれば、2～3日様子を見ることで軽快することが多いので、7日間飲み切ることを目指してください。しかし、ひどい腹痛・下痢症状、血便などを伴うような場合や発疹などのアレルギー症状、いつもとは明らかに違う症状、生活に支障をきたすような場合には、我慢せずすぐに主治医や薬剤師に相談するようにしましょう。薬の服用を続けるかどうかの判断は明確な場合を除いて自己判断で行わず、必ず指示を仰ぐようにしましょう。

また3種類の薬を服用するため、飲み合わせに注意しなければいけない薬が多数あります。他に飲んでいる薬や治療中の疾患がある場合には、必ず医師や薬剤師に事前に伝えるようにしましょう。



# オレンジカフェ

西条市地域包括支援センター西条北部管理者 宇佐美 佐緒里

毎月第1土曜日の10時から11時30分、済生会西条特別養護老人ホーム内のベーカリー ラ・スリーズでオレンジカフェを開催しています。12月は、「オレンジカフェが誰でも参加できる場であることを知ってもらおう！」という思いからクリスマスコンサートを企画しました。当日は済生会西条病院の講堂にて、地域で活動されている『石鎚軽音楽倶楽部』による演奏が披露され、およそ30人の地域の方が演奏を聴きながら穏やかなひと時を過ごしました。オレンジカフェでは、誰もが自分のペースに合わせて参加できる、

そんな居心地のいい“居場所”を目指しています。



# 第44回全国済生会親善ソフトボール大会

特別養護老人ホーム 宇佐美 颯 規

令和5年11月19日に福岡県の雁ノ巣レクリエーションセンターにて第44回全国済生会親善ソフトボール大会が開催されました。

今大会は、各ブロックの代表6チームと推薦で開催病院の福岡病院と前回優勝の当院を含む全8チームで、台風や新型コロナウイルス感染症の影響により約6年ぶりの開催となりました。

当日は今治病院から助っ人2名を招き入れ、非常に風が強く寒い中での開催となりました。

当院の初戦は、山形病院との対戦でした。序盤に得点を重ねその後はチャンスを作るものの得点出来ずにはいましたが、投手を中心に要所を締め、3対0で勝利しました。2回戦は、県大会、中四国大会ともに敗れた松山病院との対戦でした。初回到先頭打者ホームランで先制し勢いに乗るも、その後は県大会や中四国大会で苦しめられた相手投手を打ち崩すことが出来ず、終盤相手に逆転を許し1対2で敗れ連覇を逃し3位決定戦へとまわることとなりました。

3位決定戦の相手は、松阪病院との対戦でした。序盤に失点を許す厳しい展開となり、打線は大会を通してチャンスは作るもののあと一打が出ずもどかしい展開が進み、2対4で敗れ結果は4位となりました。

来年は、中四国大会を勝ち抜き、王座奪還出来るよう日々の練習に取り組んでいきたいと思ひます。



# 令和5年度 院内親善ソフトドッジボール大会

経営企画室 藤原 旭 紘

令和5年11月16日に院内親善ソフトドッジボール大会を開催しました。新型コロナウイルス感染症の影響により約4年ぶりの開催となりました。コロナ禍の中で思うような活動ができず、心身ともに疲れたまま働き続けていたと思ひます。そんな職員に発散してもらうためレクリエーション活動を再開することになりました。

3位までのチームには景品、最下位チームは体育館のモップ掛けが待っているため、どのチームも年齢関係なく必死に戦っていました。以前より参加人数は減ってしまい部署単位でチームを構成することはできず多職種混合チームになりましたが球技大会を通じて、横のつながりが生まれたと思ひます。

また、お子さんが元気よく走る姿や職員からもたくさんの笑顔が見られ、少しずつですが日常を取り戻していることを実感しました。

来年度も感染対策に十分配慮し開催したいと思ひます。







## しめ飾り

いしづち苑 石原才靖

皆さんはなぜお正月にしめ飾りを玄関に付けるかご存じでしょうか？お正月に歳神様をお迎えするために、邪気や厄災などが入ってこないように結界をはることと、家内安全と厄除けのご利益があるからとされています。

いしづち苑では一足先にお正月の準備、しめ飾りを作りました。ご利用者さんがご自宅から藁や木槌を持参され教えてもらいながら作成しました。しめ飾りの結び目の太い方は右側。橙は代々栄える。

山草（ウラジロ）は裏表ない清い心。一つひとつに意味があり、「地域の高齢者の方に教えられ自分も年配になり教え、伝えた」と言われていました。立派なしめ飾りができ、お正月にはデイの玄関に飾られます。



## 4年ぶりのお餅つき

特別養護老人ホーム 中野佳弥

12月20日、4年ぶりに入居者さんとお餅つきを行いました。まず、厨房から出来立てのもち米が到着し、地域交流スペースがお米の甘い香りでいっぱい！入居者さんと一緒に杵を使ってお餅をつき、みなさん「よいしょー！」と手をたたいて応援されました。その後、つきたてのお餅を、入居者さんに丸めていただきましたが、皆さん「懐かしい」「久しぶり」と慣れた手つきで次々とお餅を丸められ、あっという間に6升分のお餅が完成しました！

入居者さんは、安全面を優先し、お餅ムースのおしるこで年末気分を味わい、完成したお餅は職員がおいしくいただきました！

